

## ■ ツーリズムEXPOジャパン開催、イタリアブースでミラノ万博をPR

9月25～28日、東京ビッグサイトで開催された世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2014」イタリアブースにおいて、イタリア政府観光局（ENIT）及びミラノ万博公社がミラノ万博をPRしました。

26日にはミラノ市と万博公社による合同プレゼンテーションが行われ、万博全体の目標来場者数2,000万人のうち、1%に相当する20万人が日本から来場することを期待している旨の説明がありました。

また、同日、日本旅行業協会（JATA）と万博公社による「相互協力協定」に関する覚書の調印式も行われ、JATAからは田川博己会長が、万博公社からはピエロ・ガッリ ジェネラル・マネージャーが参加しました。

ミラノ万博PRコーナーでは、日本語リーフレットや、公式マスコット「Foody」のシール等が配布されていたほか、会場内の至るところでもミラノ万博のパネルやフラッグが掲示され、日本国内での広報、来場促進に対する意気込みの高さが伺えました。



万博PRコーナーでのリーフレット配布



会場内での万博PRパネル



イタリアブース 万博PRコーナー



調印式の様子



プレゼンテーションの様子

## ■ミラノ万博公社がチケット発売を開始

9月15日より、ミラノ万博一般向け前売りチケットの販売が開始されました。チケットの購入はミラノ万博公式サイト、エキスポゲートなどで可能です。チケットは日時指定あり・なしが選択でき、料金は大人（14～64歳）、子供（4～13歳）、シニア（65歳～）、家族料金などが設定されています。

詳細はミラノ万博公式サイトをご覧ください。また、日本語での概要はイタリア政府観光局（ENIT）公式サイトでもご覧いただけます。

- ☐ ミラノ万博公式サイト（チケット販売） <<http://www.expo2015.org/en/tickets>>
- ☐ イタリア政府観光局（ENIT）公式サイト（チケット販売） <<http://visitaly.jp/biglietti-expo-milano2015.html>>



## ■ミラノ万博公式スマートフォンアプリが登場

このたび、ミラノ万博の公式スマートフォンアプリが誕生しました。ダウンロードは無料で、英語とイタリア語に対応しています。ミラノ万博の最新ニュースやイベント情報はもちろん、会場工事の進捗状況なども随時アップデート・配信され、チケットの購入も可能です。

詳細はミラノ万博公式サイトをご覧ください。

- ☐ ミラノ万博公式サイト（アプリ紹介）  
<<http://www.expo2015.org/en/the-new-expo-milano-2015-app-at-your-fingertips>>



## ■ミラノ万博公社関連ニュース（他館情報）

### ・中国館が起工式を実施

9月4日、中国の伝統芸「獅子舞」とともに幕を開けた中国館の起工式。外国館の中でも日本館と同じく敷地面積4,000㎡超の規模で出展する中国館は、“Land of Hope, Food for Life” がテーマ。パビリオンには中国の伝統的な建築構造が用いられており、その外観は「波打つ麦」を表しています。

10月22日には、北京をはじめとする中国の8都市でミラノ万博PRイベントが開催され、ミラノ万博公社のジュゼッペ・サーラ代表取締役が中国を訪問しました。



### ・スイス館が起工式を実施

9月12日には、同じく4,000㎡超の大規模出展となるスイス館の起工式も行われました。スイス館は、4つの食品「水・塩・コーヒー・リンゴ」を表す4本の塔から成り、それぞれの食品は「持続可能性・責務・革新・伝統」を表現しています。パビリオンの完成は2015年1月を予定しています。



## ■ミラノ市内の取り組み

### ・ミラノ市内にウェイファインディング（“Wayfinding”）の導入決定！

ミラノ万博の開催をにらみ、ヨーロッパの他の主要都市同様、ミラノ市内に街中のガイダンスシステム“Wayfinding”を導入することが決定されました。来年4月までにミラノ市内に150台が設置される予定です。ガイダンスシステムでは、市内中心地のみならず、万博会場付近の案内情報も入手可能。地図表示のほか、公共交通機関や、レンタサイクルステーション、映画館、病院、駐車場、スポーツ施設など、幅広い施設に関する情報が入手できます。